

## 全館空調「エアロテック-UV」 新発売

### UVクリーンユニットによる浮遊ウイルス除去・脱臭機能を搭載

三菱地所ホーム株式会社（本社：東京都港区赤坂 社長 西貝 昇）は、紫外線と光触媒を用いて室内の浮遊ウイルス、臭気、VOC（揮発性有機化合物）などの除去、脱臭を行う「UVクリーンユニット（ユーヴィックス株式会社製（特許取得）」を、日本の戸建住宅用全館空調として初めて採用した「エアロテック-UV」を発売します。これにより、三菱地所ホームの木造ツーバイフォー注文住宅の基本性能として標準採用する全館空調システム「エアロテック」の空気清浄機能を大幅に進化させ、ご家族がより快適で健康的に安心して住まうことのできる家を実現します。

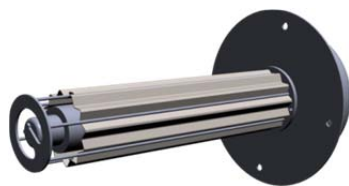
#### 1. 「エアロテック-UV」の効果

- ① 「UVクリーンユニット」内のUVランプから出る紫外線と光触媒チタンメッシュフィルターによる化学反応で、ユニットの表面及び周囲の空間にUVオキシドイオンが発生します。その高い酸化反応により、ダクトを通過する空気は浮遊ウイルス<sup>※1</sup>、臭気<sup>※2</sup>、VOC<sup>※2</sup>、カビ菌<sup>※3</sup>等が除去・脱臭され、各部屋に吹出されます。
- ② 「UVクリーンユニット」の周囲の空間に発生したUVオキシドイオンは、家の中を循環する空気により、ダクトを経由して各部屋の吹出し口から吹出され<sup>※4</sup>、家中の空気内の浮遊ウイルス<sup>※1</sup>、臭気<sup>※2</sup>、VOC<sup>※2</sup>、カビ菌<sup>※3</sup>等を除去・脱臭します。

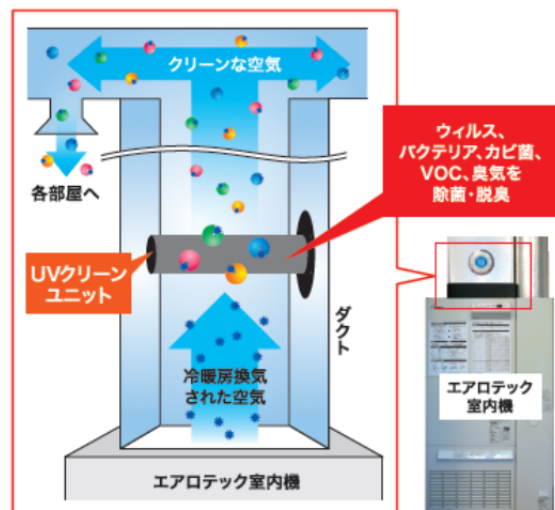
（※1～※4については、別紙資料参照）

#### 2. 「エアロテック-UV」のしくみ

「エアロテック-UV」は、全館空調システム「エアロテック」のダクト部に、UVランプと光触媒チタンメッシュフィルターで構成される「UVクリーンユニット」を組み込んだシステムです。家中の空気を循環させるという「エアロテック」の特徴を活かし、家中をよりクリーンな空気で満たします。



UVクリーンユニット



「エアロテック-UV」のしくみ

3. 販売日 2014年5月1日より受注開始

4. 販売価格 1システム 215.8万円（税別）

（\*モデルプラン 44.5坪に搭載した場合の価格。エアロテック本体（室内外機等）、吹出し口、各設置工事一式等を含む。）

以上

【お問い合わせ先】

三菱地所ホーム株式会社 業務企画部

TEL：03-6887-8140 mailto:cseigyo@mjhome.co.jp

## 【資料】

### ※1 浮遊ウイルスの除去

浮遊ウイルスの除去効果については、下記 120L 空間（バイオハザード空間）における除菌能力確認試験での効果であり、実使用空間での実証結果ではありません。

住宅の規模や熱環境、エアロテックの運転状況や使い方によって効果が異なります。

#### 【試験方法】

- 試験機関：特定非営利活動法人 バイオメディカルサイエンス研究会
- 試験対象：浮遊した 1 種類のウイルス
- 試験方法：ボックス表面ステンレス、120L 空間（バイオハザード空間）における除菌能力確認試験
- 試験結果：10 分後のウイルスの減衰率を測定した結果、“UVユニット” 使用時ではウイルスが約 99.9%減衰

### ※2 脱臭・VOCの除去

脱臭・VOCの除去効果については 36L ボックスの試験空間での効果であり、実使用空間での実証結果ではありません。住宅の規模や熱環境、エアロテックの運転状況や使い方によって効果が異なります。

#### 【試験方法】

- 試験機関：（財団法人）神奈川化学技術アカデミー（アセトアルデヒド、アンモニア）  
東京理科大学 光触媒国際研究センター（硫化水素）
- 試験対象：アセトアルデヒド、アンモニア、硫化水素
- 試験方法：36L ボックスに対象ガスを入れて試験。  
アセトアルデヒドは光音響ガスモニター、アンモニアは半導体センサー、硫化水素は検知管を使用
- 試験結果：拡散しやすい臭い成分をすばやく分解。いずれも 1 時間後にはほとんど臭いを感じないレベルとなった。

### ※3 カビ菌の除去

弊社モデルハウスでの実証結果。

根付いたカビ菌には有効ではありません。空間湿度が高いと反応は進みますが、乾燥状態の場合は高い効果が得られません。

住宅の規模や熱環境、エアロテックの運転状況や使い方によって効果が異なります。

#### 【試験方法】

- 試験機関：株式会社ファインテック
- 試験対象：カビ菌
- 試験方法：液体培地にカビ（クロカビ、コウジカビ、アオカビ）混合菌液を作成し、アルミ箔に塗抹。  
1 日培養後、弊社モデルハウス（赤坂「Everie」）のダクト内部に貼り付け、経時的な菌数の変化を確認。
- 試験結果：24 時間後には、ダクト表面のカビ菌は除菌されていた。

### ※4 各部屋の吹出口からの「UVオキシダイオン」の吹出量

住宅の規模や熱環境、エアロテックの運転状況や使い方によって、各吹出口からの吹出風量が変化するため、「UVオキシダイオン」の吹出量及び効果が異なります。